

点検・交換方法

代表対象品番	SF-130-G、SF-130-G-U、SF-130DC-G、SF-130DC-G-U
故障の状況	開閉ハンドルがガタつく
点検・作業項目	開閉ハンドルの交換
点検・交換部品	開閉ハンドル(品番：A-080)
必要な工具	ドライバー(マイナス/8mm：止水栓にハンドルがない場合)、精密ドライバー(マイナス)、ドライバー(プラス No.2)

安全上のご注意

メンテナンスを行う前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく行ってください。

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

メンテナンス完了後、正常に作動することを確認してください。

⚠️注意

高温の湯をお使いの後は、水栓内に高温の湯が残らないようにしばらく水を流してから作業を行ってください。
水栓が高温になっていたり、水栓内に滞留した高温の湯で、ヤケドをする恐れがあります。



作業完了後、各部から水漏れがないことを必ず確認してください。
水漏れにより、家財をぬらす恐れがあります。



作業前のご注意

湯・水側の両方の止水栓または水道の元栓を閉めてから作業を行ってください。

必ず水が止まっていることを確認してから作業を行ってください。

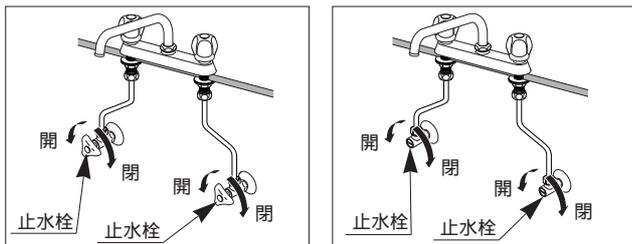
サイズが合った工具を使用してください。

排水口をフキン等で覆い、部品が落ちないようにしてください。

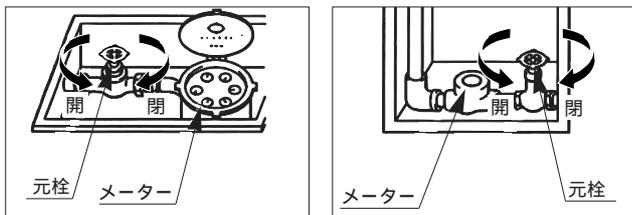
交換方法

1. 止水栓または水道の元栓を閉めます。

カウンター内部に止水栓がある場合

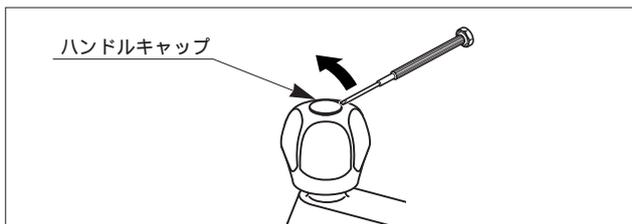


カウンター内部に止水栓がない場合

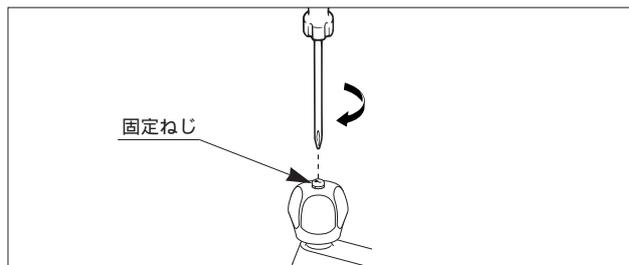


開閉ハンドルを回して、水が出ないことを確認してください。

2. ハンドルキャップを精密ドライバー(マイナス)で外します。



3. 開閉ハンドルの固定ねじを増締めしてください。
固定ねじの溝にしっかりとドライバー(プラス No.2)を差し込み、溝をつぶさないようにしてください。

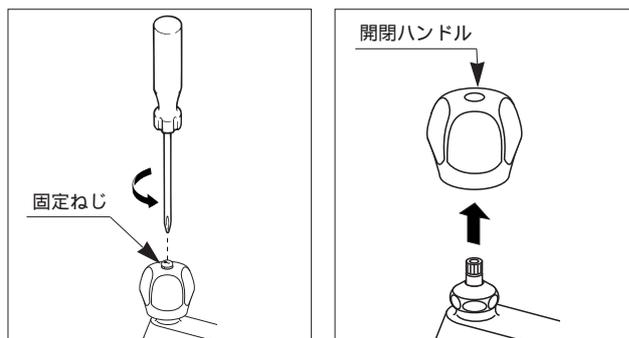


固定ねじを増締めしても直らない場合は、開閉ハンドルを交換してください。

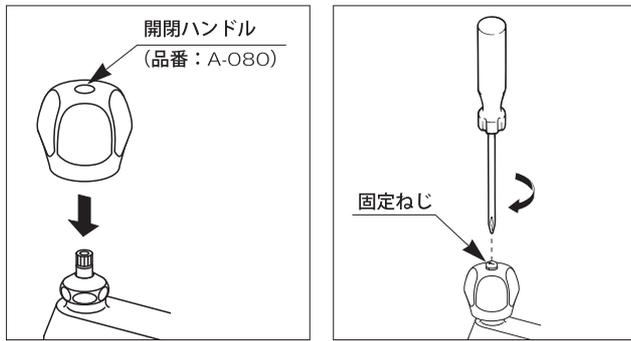
水側・湯側とも品番：A-080

〔開閉ハンドルの交換〕

4. 固定ねじをゆるめ、開閉ハンドルを上引き抜きます。
固定ねじの溝にしっかりとドライバー(プラス No.2)を差し込み、溝をつぶさないようにしてください。

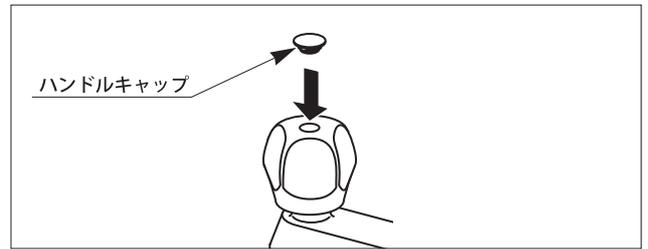


5. 新しい開閉ハンドルを差し込み、固定ねじで固定します。



※ 開閉ハンドルがガタつかないことを確認します。

6. ハンドルキャップをはめ込みます。



7. 湯・水側両方の止水栓または水道の元栓を開け、適温・適量になるように流量調節をします。

※ 止水栓または水道の元栓を全開にした場合は、1/4回転戻してください。

●作業後の確認

※ 作業終了後、各部から水漏れがないことを必ず確認してください。
水漏れにより、家財をぬらす恐れがあります。